

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式)

3 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> ・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	評価者・組織	評価日	評価者(いずれかに○)
1 確かな学力	教科指導の充実	公開授業週間、授業アンケートの実施、教科会の充実	学習確認プログラムの結果	学プロの正答率は全市平均を前回同様数ポイント上回る	⇒	朝読書・昼学習については習慣化できている。教科指導の成果は学プロの結果からうかがえるが、一部の教科で、授業の説明や内容がわからないという生徒が20%を超えている。	家庭学習のできていない生徒が多いという現状から、学校をとして具体的にどのようにして家庭学習に取り組ませていくのかを検討する。引き続き、めあてをしっかりと示した授業の徹底と言語活動の充実はかかる。	引き続きわかりやすい授業をすすめ、どの子にもしっかりと学力をつけてほしい。
	家庭学習の習慣化	学年だより等での啓発 自主学習ノート	家庭学習をしていますか	だいたいできているという生徒は前回より微増で60%強				
	基礎学力定着の推進	朝読書や昼学習の充実 テスト前及び夏季休業中の学習会	朝読書・昼学習にしっかりと取り組んでいますか	だいたいできているという生徒は前回同様約90%				
2 豊かな心	豊かな心の育成、規範意識の育成	生徒会を中心とした取組(校則改定について)	他人を思いやり親切にしていますか、きまりや約束を守っていますか	だいたいできているという生徒は前回より微増で90%強	⇒	生徒会が取り組んだ靴下についての校則改定に関しては、生徒はしっかりと考え方取り組むことができた。 あいさつについては生徒ほど保護者はできているとは考えていない。	道徳教育の充実もはかりながら、今以上に他人を思いやる心や規範意識の向上をはかっていく。また校内だけでなく、どこででもしっかりとあいさつのできる生徒を育てていく。	以前に比べれば地域での迷惑行為もなくなってきた。
	豊かな心の育成	あいさつ運動	すすんであいさつをしていますか	前回同様90%弱の生徒が、どちらかというとすんであいさつをしている				
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	規則正しい生活の呼びかけ 保健だよりの配布	規則正しい生活をしていますか、朝食を食べていますか	前回同様90%を超える生徒が朝食を摂取している	⇒	ほとんどの保護者・生徒が規則正しい生活や朝食の摂取は重要と考え、家庭の協力もあり、朝食摂取率は引き続き高い数字となっている。	引き続き生活のリズムの確立に向けて、家庭の協力を仰ぐのはもちろん、保健室との連携も強化して指導をすすめていく。	地域によっては子どもの外で遊ぶ姿を見かけなくなっている。
4 独自の取組	小中一貫教育の推進	小中合同研修会及び洛北のWA、小中教務・研究・生指主任の各会議の実施	小中合同の各種会議の実施状況 小中合同の取り組み	年間2~3回の合同会議の実施 洛北のWAの実施	⇒	洛北のWAの取り組みは小学生に中学校生活への期待を膨らませる取り組みとなつた。 HPは引き続き毎日の更新を行い、前回を上回る平日のアクセス数となつた。	小学生及び小中の教職員のアンケート結果を踏まえて、来年度更なる充実をはかっていく。 HPは今まで以上に学年からのこまめな情報発信をはかっていく。	いろいろな規模の小学校から入学する生徒がいる実態から、どの生徒も中学校生活がスムーズにスタートできるようにお願いしたい。
	情報発信の充実	積極的なホームページの更新	ホームページへのアクセス数	前回以降、平日の平均アクセス数は平均170回と増加している				

4 総括・次年度の課題

- ・確かな学力については、基礎的な学力は定着していると考えるが、さらなる教科会の充実を図り、授業改善や言語活動の充実に取り組んでいく。家庭学習にしっかりと取り組めている生徒が少ないということを大きな課題ととらえ、この課題の克服に向けて具体的な取り組みを進めていく。また、授業改善を図るため、授業アンケートについて項目の見直しを検討していきたい。
- ・小中一貫教育について、洛北のWAの取り組みを充実させることで、中1ギャップの克服につなげていきたい。